

令和7年度クラブアドバイザー等配置事業

令和7年度スポーツ振興くじ助成金による総合型地域スポーツクラブ活動助成「クラブアドバイザー等配置事業」に基づき、クラブアドバイザーおよび中間支援組織業務担当者を各1名配置しました。令和7年度の活動報告は下記の通りです。

○配置期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日

○配置日数：144日（クラブアドバイザー）、192日（中間支援組織業務担当者）
（総合型クラブへの指導日数144日、未設置市町村への普及・開発活動日数22日）

○実施した事業の内容

- ①派遣回数：総合型クラブ未設置地域4回、創設準備クラブ6回、設立済クラブ12回
- ②会議回数：群馬県総合型地域スポーツクラブ総会・常任委員会5回、地域スポーツ推進団体連絡会議3回、書類審査・実態調査・登録審査委員会6回

○主な指導・助言内容

- ・新規創設クラブに対する、設立までの流れおよび必要書類等の点検・助言
- ・市町村とクラブとの連携促進および創設支援
- ・登録・認証制度の説明および申請手続きの支援
- ・運動部活動の地域展開に伴う情報提供
- ・法人格を有していないクラブに対する、法人格取得に向けた情報提供・助言
- ・各種会議の企画・立案および開催
- ・クラブの運営基盤強化を目的とした、クラブマネージャー並びにアシスタントマネージャー資格取得の推進

○事業の成果

- ・全国登録に向け、県内連絡協議会に所属するクラブを対象に、令和8年1月に実施する登録認定審査会に向けて、より多くのクラブが全国登録申請を行うよう、各ブロック別研修会において周知を行った。
- ・県内4ブロックから各1クラブを選定し、具体的な課題等を検証することで、県内クラブの質的充実を図り、登録・認証制度への理解を深めるため、推進団体連絡会議委員による実地調査を実施した。
- ・令和8年1月の登録認定審査会には、30クラブ中17クラブの申請があり、新規創設クラブ2件を含め合計19クラブの審査を行い、結果全国登録となった。

- ・スポーツクラブの中核を担う人材の養成・発掘を目的とした「日本スポーツ協会公認アシスタントマネージャー養成講習会」を、3年連続で開催した。
- ・群馬県教育委員会をはじめ、県内市町村教育委員会においても、学校部活動の地域展開に関する実証事業が増加し、取組が加速化している。各総合型地域スポーツクラブに対しては、群馬県教育委員会と地域創生部が協働で策定した推進計画について、総会や広報誌、県内各ブロック別研修会等を通じて継続的に情報提供を行い、受け皿としての持続可能なクラブづくりに努めた。
- ・令和7年度の取組として、県内を4ブロックに分けて各地域に共通する課題をテーマとした講演会や研修会を実施し、課題解決に向けた取組を進めたほか、各クラブの基盤強化を目的に、新規事業としてクラブ別研修会を自主運営で企画・実施した。
- ・各クラブの特色ある種目を取り上げ、他クラブにも関心を持ってもらうため、フェスティバル形式での発表や体験を行ったブロックもあった。
- ・「人材育成」「全クラブの質的充実と持続可能なクラブ運営」をテーマで「若手の人材育成・確保のためのスポーツボランティアワークショップ」開催したところ、高校生から大学生を中心に参加があり、若者の声として直接聞くことができ、貴重な研修会となった。
- ・県内全域において、パラスポーツ（ボッチャ、ゴールボール等）の普及を目的に、全体講習会の中で導入・実施した。
- ・県内で活動しているクラブのうち、総合型地域スポーツクラブとしての創設を目指すクラブに対し、全国登録基準に対応できるよう、組織づくり等の指導を行った。
- ・令和7年度の新規取組として、「スポレクフェス2025」において、群馬県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会から「健康夢友クラブ」が参加し、モルックの実技指導を行った。

スポーツくじ



この活動はスポーツくじの助成金を受けて行っています。